



青葉区フードバンク通信



すすき野団地で防災備蓄食品を500セット配布！ 第29代日本さくらの女王選出大会にも協賛

寒い日が続く2月、横浜市青葉区のすすき野団地で20日に防災訓練が行われました。当会ではすすき野団地でのフードバンク活動を毎月1回行っていますので、今回は「防災備蓄食品」を500セット寄贈させていただきました。内容は、アルファ米、缶入りソフトパン、保存水の3種類のセットです。

新型コロナ禍のまんえん防止措置期間中ということで、防災訓練の参加者がどのくらいになるのか予想がつかみませんでした。安否確認作業への協力世帯は409戸（58.4%）だったそうです。その後の防災備蓄食品の配布会には約250名の方々が見えになり、全量をお持ち帰りいただきました。すすき野団地では防災訓練を50年近く開催してこなかったそうですが、今回は食品提供も行われ、参加された方々の防災意識向上に寄与できたのはなによりです。



すすき野団地で行われた防災訓練での食品配布の様子。

昨年12月12日の「すすき野団地フードバンク」には、公益財団法人日本さくらの会から、「さくらプリンセス」が配布応援に来てくれたということは、第9号でお知らせしたとおりです。その公益財団法人日本さくらの会では、2



月25日にホテルニューオータニで第29代「日本さくらの女王」選出大会が開催されました。当会も協賛しているイベントで、振袖を着た候補者が日本語と英語で審査員からの質問に答えながら選考が行われます。来場者には記念品が配られましたが、その中にフードバンクへ寄贈された食品も封入しました。この選考会には様々な業界のキーパーソンが来場していたので、当会の活動を広報するとても良い機会でした。新しいさくらの女王・さくらプリンセスが、日本さくらの会の基本理念にも沿ったSDGsの一環としてフードバンク活動に協力してくれる事を願っています。

主なフードバンク活動の記録

- 【第32回】2月09日（水） 夢見堂
- 【第33回】2月14日（月） 鴨志田地域ケアプラザ
- 【第34回】2月20日（日） すすき野団地
- 【第35回】2月21日（月） 鴨志田団地集会所
- 【第36回】2月26日（土） 夢見堂

★2022年3月の食品配布会の開催予定★

- 3月09日（水）、23日（水） 夢見堂
- 3月12日（土） すすき野団地
- 3月14日（月） 鴨志田地域ケアプラザ
- 3月21日（月） 鴨志田団地集会所

編集後記

前駐ベトナム日本国大使の梅田氏が日本さくらの女王選出大会で審査員を担われた折に、お話を伺う機会を得、大変勉強になりました。ベトナムと日本は漢字文化の共有や若者に人気のお料理など、アジアの友好国として長い歴史があります。昨今は留学生や技能実習生など多くのベトナム人が訪日し、国籍別の外国人労働者数は2位です。氏は退官後（一財）外国人材共生支援全国協会の副会長として外国人材の育成、保護、多文化共生社会の実現に寄与されています。当、国際文化交流研究会も、基幹事業の一つである地域在住外国人のサポート活動を更に推進して行く所存です。4月からはフードドライブも実施予定ですので交流の場が広がる事を期待しております。（園）